

## 未来茶輪が協働研修の舞台に

毎月、未来茶輪（みらいかふえ）マスターズとして開催している「未来茶輪」。12月は、愛知県の協働研修の実践の場となりました。

### ☆未来茶輪とは

さまざまな人が住む「まち」で活躍している人たち。その活躍の内容や想いをお聴きして、自分たちの活動に生かす、始めの一步を踏み出してみようという機会になれば！と約10年前から始めました。

ここでは、ゲストのお話と質疑応答、そして、参加者間の対話を行っています。コロナ禍では、オンラインに切り替え、今では、対面とオンラインのハイブリッドで行っています。対面の場は、名古屋都市センターさんと共催で、会場をお借りして行っています。

### ☆今回は

愛知県主催の「参加 to 協働」研修の実践の場として、未来茶輪の運営をつかっていただきました。行政職員の方向けの研修で、協働を実践していく基礎を身に付けてほしいという目的でした。

普段、私たちが行っている、企画からゲストへの依頼、当日の運営などを受講者のみなさんに行っていただくというものでした。

ゲストは、研修の中で強く共有されたのは「つながりをつくる」という事でした。つながりをつくりながらご自分の自治体に引き込んでいったという会い東浦町の元町長、神谷氏にお願いしました。

当日は、オンラインに関する音声のトラブルがあったり、告知タイムが長くなってしまったりということがありましたが、無事に、楽しく行うことができました。

### ☆ふりかえりでは

ふりかえりの会では、「こんなにゆるゆるでも、参加者は満足していた」「参加する人はみんな慣れていて、ファシリテーターをしてくれた」「準備って、こんなに大変だったんだ」「市民とフランクに話せた」などなど、とっても素敵なふりかえりがありました。

もちろん、もっとこうすれば良かった、というのもありました。しかし、まずはやってみる事が大切！一歩踏み出せば何とかなるね！ということを共有できました。

\*当日のファシリテーターを引き受けてくださった方も、緊張は伝わってきましたが、終了後は、とても充実感があるように見えました。心強いファシリテーターがまた、一人生まれた場面でもありました。こうして市民との対話ができる行政職員の方が増えていくのも、うれしかったです。

